

フォーラム
多摩アートタウンの
可能性を語ってみよう



タマにきタマえ!!

2018.01.28 (Sun)
13:00 → 16:00
パルテノン多摩 4階第1会議室
〒206-0033 東京都多摩市落合2-35 042-375-1414
入場料無料・入場人数85名(先着順・事前申し込み不要)

さあ、多摩の人もそうじゃない人も、みんなでタマにきタマえ!!

多摩ニュータウンが生まれて約50年。現在、空き室問題や少子高齢化など様々な課題を抱えている多摩ですが、見方を変えればそれらは魅力や資源となる可能性を秘めています。開館30周年を迎え、パルテノン多摩の改修を控えた今、それらの魅力や資源についていろんな視点から考えてみませんか?アーティストやまちづくりプランナー、東京藝術大学を巻き込んで、住んでよし、訪れてよしの多摩の未来について一緒に語り合しましょう!

アートタウンとしての多摩

多摩ニュータウンは東京都心へのアクセスが容易であり、アトリエや練習室など制作環境を求める若手アーティストにとって、制作活動と都心での発表の機会を両立しやすい環境です。また、少子高齢化が進む多摩市には、多様な視点を持った若手のアーティストが地域に関わる機会を生み出すことが、まちづくりの可能性を開くことにつながるのではないかと考えました。そこで、改修を控えたパルテノン多摩という複合文化施設を活かし、地域のコミュニティを繋ぎ、魅力を高めていくまちづくり(=アートタウン)の可能性を提示したいと考えています。

吉本光宏(ニッセイ基礎研究所 研究理事)



Photo ©Keiji Takashima

1958年徳島県生。早稲田大学大学院(都市計画)修了後、社会学研究所などを経て、89年からニッセイ基礎研究所。東京オペラシティなどの文化施設開発、アートワーク計画のコンサルタントとして活躍する他、文化政策、創造都市、オリンピック文化プログラム等の調査研究に取り組む。現在、文化審議会文化政策部会委員、(公財)企業メセナ協議会理事、東京芸術文化評議会評議員、東京藝術大学非常勤講師など。主な著作に「再考、文化政策(ニッセイ基礎研究所)」など。

瀬戸山美咲(劇作家・演出家)



1977年、東京都生まれ。2001年、ミナモトを旗揚げ。現実の事象を通して、社会と人間の関係を描く。2016年、バクスタンで起きた日本人大学生誘拐事件を描いた『彼らの敵』が第23回読売演劇大賞優秀作品賞を受賞。世田谷パブリックシアターのワークショップや、ロンドンパブリシアター『ヒロシマの孫たち』などコミュニティの人とつくる演劇に継続的に携わる。2017年8月、パルテノン多摩にて、多摩ニュータウン取材し、ワークショップを経て創作した演劇『たまたま』を上演。

川原晋(首都大学東京 都市環境学部 教授)



早稲田大学大学院都市計画分野博士(工学)。まちづくりと、地域資源を活用して地域経済活動や生き甲斐を生む手段としての観光を一緒に考える「観光まちづくり」の研究と実践に取り組む。高尾山地区まちづくり、稲城市エリアマネジメント南山、長門湯本温泉観光まちづくり等に参画中。藤沢市景観アドバイザー、横浜市市民まち普請事業部会委員など。日本都市計画家協会第4回楠本洋二賞優秀賞。主な著書に「季刊まちづくり36号特集1「都市の祝祭空間」」学芸出版社など。

フォーラム プログラム:

企画概要の説明

東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科箕口研究室

「文化から始まるまちづくりの可能性」

話者:吉本光宏(ニッセイ基礎研究所 研究理事)

「まちづくりに活かす公共施設整備と芸術」

話者:川原晋(首都大学東京 都市環境学部 教授)

「演劇作品『たまたま』から見た多摩ニュータウン」

話者:瀬戸山美咲(演出家・脚本家)

ワークショップ

「多摩をおもしろくするアイデアを考えよう」

質疑応答

多摩の未来を語る場を、
藝大生がプロデュース。

東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科

本研究科はグローバル化に対応して、美術、音楽、映像等、さまざまな芸術ジャンルを複眼的な視点で捉え、公演や展覧会等を通じて表現者たちの発表活動の場を創出するキュレーターやプロデューサーを輩出することを目指しています。また、さまざまな文化活動の社会的・文化的諸相を分析する研究者や、そうした研究を通じて文化政策に提言・実践をおこなう専門家の育成も目指しています。芸術文化の専門機関、教育研究機関および企業・行政等における高度な専門人材の養成を図るため、専攻において定められた単位数の取得と、修士論文等による学位審査に合格した者に修士の学位を授与します。本科アートプロデュース専攻アートマネジメント講師箕口一美とそのゼミ生が中心となって運営している箕口ゼミ(通称:mino研)では、東京藝術大学美術学部デザイン科とのコラボレーション企画「BACHCONCERT: MUSICxTYPOGRAPHY パッパ・コンサート」を行うなど、領域やジャンルを横断するアートマネジメントに取り組んでいます。



PARthenON TAMBA 多摩

公益財団法人 多摩市文化振興財団 東京都多摩市落合2-35 042-375-1414

電車:多摩センター駅(京王線・小田急線・多摩モノレール)下車 徒歩5分

バス:多摩センター駅(京王電鉄バス・神奈川中央交通)下車 徒歩5分

お問い合わせ:東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科
アートプロデュース専攻箕口研究室 arttown.mino@gmail.com

